

GREETING:挨拶

私の身のまわりで起きたこと、最近私が考えている事。

近況報告

いつも、ありがとうございます。

次女のくるみが小学校に入学しました。今月から3年生になった長女のさくらと二人で通学しています。

家内にもだんだんと自由な時間が増え、時間に余裕のある時には夫婦二人でゆっくりランチでもできればなど思っている今日この頃です。

さて、今年45歳になる私ですが相変わらずあれをしたいこれをしたいという夢や目標を数多く持ち続けています。

持ち続けているどころか、どんどん夢や目標はふくらんでいっています。

私の辞書に現状維持という言葉はありません。

その要因の一つは、日々いろいろな方々との出会いがあることが挙げられると思います。

新しい出会いによって、今まで知らなかった世界を知ることができ、好奇心旺盛な私は興味を持った世界に迷わず飛び込んでいきます。

それが自然と自分の世界を広げ、新しい夢や目標につながっていくのだと思います。

常にチャレンジです。



20代の頃に教えてもらった言葉があります。「人生は、下りのエスカレーターに乗っているようなものだ。」つまり現状維持で立ち止まっていたら気付けば下に下がっている。普通に歩き続けて何とか現状維持。特に変化の激しいこれからの時代は、積極的にしっかりと登っていかないと上には行けない。

以前、テレビであるプロ野球選手の特集を見たことがあります。

日本でエースピッチャーとして大活躍した後、アメリカに渡り数年掛けてアメリカでも強豪チームのエースにまで登り詰めた大投手の話です。

彼は、日本でエースとして活躍していた頃 速いストレートで勝負していたピッチャーでした。得意の速球でビシビシ相手をねじ伏せていたのです。

しかしアメリカに渡った彼は、メジャーリーグの世界で厳しい現実を突き付けられます。

自慢のストレートがメジャーリーグの世界では、通用しないということがわかったのです。

そこで彼は決断します。メジャーリーグでも一流の実績を挙げるために変化球を極めようと。30代半ばのことです。

その後、メジャーリーグでも素晴らしい実績を残しエースとなるのですが、その頃全投球に占めるストレートの割合はわずか5%で、多彩な変化球を操る投手に变身していたとのことです。

一方、日本で素晴らしい実績を残しながらも、メジャーリーグでは全然通用しない選手がいます。

変化への対応力、もっと言えば自分を変化させる勇氣と努力の違いを生むのかなと思います。

新しい挑戦や今までの自分を変えることには、大きなリスクが付きまといます。

しかし、人生は下りのエスカレーター。特に変化の激しい現代においては、現状維持の方こそが大きなリスクになるのかもしれない。

私は、これからもどんどん新しい世界に挑戦していきます。失敗をしても後悔はしません。積極的な生き方を貫いていく覚悟です。

感謝!!

